



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 東大

上場会社名 エスペック株式会社
コード番号 6859 URL <http://www.espec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 雅昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 廣 信義

TEL 06-6358-4741

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,662	11.2	839	△16.5	989	△19.1	771	△39.0
23年3月期第3四半期	19,477	34.9	1,006	—	1,223	—	1,264	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 665百万円 (△27.6%) 23年3月期第3四半期 919百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	32.90	—
23年3月期第3四半期	53.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	36,313	27,894	76.3	1,180.49
23年3月期	37,905	27,580	72.4	1,169.00

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 27,694百万円 23年3月期 27,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	6.5	1,300	△6.6	1,450	△13.9	1,400	△15.4	59.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	23,781,394 株	23年3月期	23,781,394 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	321,002 株	23年3月期	320,872 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	23,460,489 株	23年3月期3Q	23,671,056 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による落ち込みから徐々に回復してまいりましたが、長引くデフレや円高、欧米の景気低迷に加え、タイの洪水による影響を受けるなど依然として厳しい状況が続きました。

世界経済につきましては、新興国の成長に支えられ緩やかな回復基調にありましたが、欧州の財政不安などの影響に加え中国経済が減速したことにより、景気回復の停滞感が強まりました。

当社の主要顧客におきましては、震災の影響や先行きの不透明感による投資計画の見直しや先送りがありましたものの、スマートフォン関連や二次電池関連といった好調な市場では積極的な設備投資が継続いたしました。また、電子部品・電子機器メーカーや自動車関連メーカーを中心に開発投資も引続き堅調に推移してまいりました。

こうした状況の中、当社は、好調市場での販売拡大に引続き注力するとともに、省エネ性能に優れた恒温恒湿器プラチナスJシリーズを市場へ投入するなどの買い替え促進策を講じてまいりました。また、環境試験市場が拡大している中国などのアジア新興国を中心に営業活動を強化してまいりました。

こうした結果、受注高は前年同四半期連結累計期間比で4.4%増加し24,624百万円、売上高は11.2%増加の21,662百万円となりました。利益面につきましては、固定費の増加などにより、営業利益は前年同四半期連結累計期間比で16.5%減少し839百万円、四半期純利益は39.0%減少し771百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (23年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (24年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	23,592	24,624	4.4
売上高	19,477	21,662	11.2
営業利益	1,006	839	△16.5
経常利益	1,223	989	△19.1
四半期純利益	1,264	771	△39.0

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場においては、電池関連などの好調市場を中心に研究開発用途の恒温恒湿器などの受注が増加しました。海外市場においても、中国関係会社の好調な受注が継続するとともに、タイの洪水による装置の入れ替えなどの引合いが発生しました。こうした結果、受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比で大幅に増加しました。

半導体関連装置につきましては、半導体メーカー向けのバーンイン装置や評価システムが堅調に推移しましたが、前年同四半期が好調であったため受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比では減少しました。

FPD関連装置につきましては、台湾や国内のメーカー向けに小型液晶パネル用のクリーンオープンを受注したことにより、受注高は前年同四半期連結累計期間比で大幅に増加しました。売上高は、受注案件の多くを来期に売上計上する予定であるため、前年同四半期連結累計期間比で減少しました。

エナジーデバイス装置につきましては、子会社のエスペックテクノ株式会社において、二次電池検査装置などが堅調に推移しました。また、エスペック本体で取組む二次電池製造装置の引合いが第3四半期から増加しておりますが計画には届かず、こうした結果、受注高・売上高ともに計画を下回りました。

装置事業全体では、受注高は前年同四半期連結累計期間比で6.3%増加し20,080百万円、売上高は13.4%増加し17,593百万円となりました。営業利益につきましては、固定費の増加などにより前年同四半期連結累計期間比で13.6%減少し741百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (23年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (24年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	18,882	20,080	6.3
売上高	15,509	17,593	13.4
営業利益	858	741	△13.6

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、受注高は震災の影響などにより前年同四半期連結累計期間比で減少しましたが、売上高は前期受注残もあり増加しました。

受託試験・レンタルにつきましては、主要顧客である自動車関連メーカーからの受注が堅調に推移し、受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比で増加しました。

こうした結果、サービス事業全体では、受注高は前年同四半期連結累計期間比で1.9%増加し4,022百万円、売上高は5.3%増加し3,686百万円となりました。営業利益につきましては、売上高の増加などにより前年同四半期連結累計期間比で20.6%増加し296百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (23年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (24年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	3,946	4,022	1.9
売上高	3,500	3,686	5.3
営業利益	245	296	20.6

<その他事業>

その他事業につきましては、環境エンジニアリング事業、植物工場事業ともに、震災の影響による官公庁や顧客企業の予算凍結などで低調に推移し、その他事業全体では、受注高は前年同四半期連結累計期間比で28.8%減少し615百万円、売上高は17.2%減少し471百万円となりました。利益面につきましては、197百万円の営業損失となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (23年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (24年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	865	615	△28.8
売上高	569	471	△17.2
営業損失 (△)	△100	△197	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2および第4四半期連結会計期間に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの業績には著しい季節的変動がありません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は36,313百万円で、前連結会計年度末と比べ1,592百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少2,485百万円、受取手形及び売掛金の減少971百万円、有価証券の増加1,000百万円、たな卸資産の増加696百万円などによるものであります。また、負債は8,418百万円で前連結会計年度末と比べ1,906百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,084百万円、短期・長期借入金の減少358百万円、賞与引当金の減少221百万円などによるものであります。純資産は27,894百万円で前連結会計年度末と比べ313百万円の増加となり、その主な要因は利益剰余金の増加419百万円、土地再評価差額金の増加88百万円、為替換算調整勘定の減少173百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月28日に第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正いたしましたが、下期につきましては、円高の状況、海外経済の動向や国内景気の先行き不透明感などの業績変動リスクが懸念されるため、通期の業績予想は据え置いておりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては概ね計画に沿って推移しており、第4四半期連結会計期間におきましても前述の業績変動リスクに特段の変化を想定していないことから、通期の連結業績予想を修正しておりません。

なお、実際の業績等に影響を与える可能性のある重要なリスクは、平成23年3月期決算短信の6ページに記載の「事業等のリスク」から変更ありませんが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度より重要な変更はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,511	6,026
受取手形及び売掛金	12,090	11,118
有価証券	1,300	2,300
商品及び製品	225	584
仕掛品	1,527	1,839
原材料及び貯蔵品	1,039	1,064
その他	1,982	2,392
貸倒引当金	△11	△8
流動資産合計	26,666	25,318
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,166	3,059
土地	4,413	4,408
その他（純額）	650	675
有形固定資産合計	8,230	8,143
無形固定資産	285	253
投資その他の資産	2,723	2,597
固定資産合計	11,239	10,994
資産合計	37,905	36,313
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,654	4,570
短期借入金	210	20
未払法人税等	62	75
賞与引当金	366	145
役員賞与引当金	7	5
製品保証引当金	188	188
その他	2,046	1,920
流動負債合計	8,535	6,924
固定負債		
長期借入金	168	—
退職給付引当金	42	22
役員退職慰労引当金	44	44
資産除去債務	49	50
その他	1,484	1,376
固定負債合計	1,789	1,494
負債合計	10,325	8,418

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,172	7,172
利益剰余金	15,294	15,714
自己株式	△202	△202
株主資本合計	29,160	29,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	95
繰延ヘッジ損益	△5	—
土地再評価差額金	△828	△739
為替換算調整勘定	△1,067	△1,240
その他の包括利益累計額合計	△1,734	△1,885
少数株主持分	155	199
純資産合計	27,580	27,894
負債純資産合計	37,905	36,313

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	19,477	21,662
売上原価	13,032	14,549
売上総利益	6,444	7,113
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,594	1,820
賞与引当金繰入額	23	42
製品保証引当金繰入額	97	163
役員賞与引当金繰入額	2	5
その他	3,720	4,241
販売費及び一般管理費合計	5,438	6,273
営業利益	1,006	839
営業外収益		
受取利息	20	16
受取配当金	40	46
有価証券売却益	0	2
負ののれん償却額	21	—
持分法による投資利益	130	119
その他	67	66
営業外収益合計	280	251
営業外費用		
支払利息	9	7
有価証券売却損	2	4
為替差損	36	76
その他	15	13
営業外費用合計	63	101
経常利益	1,223	989
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	38	20
貸倒引当金戻入額	4	—
特別利益合計	42	21
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	2	8
投資有価証券評価損	65	93
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	36	—
その他	1	—
特別損失合計	106	102
税金等調整前四半期純利益	1,158	907
法人税、住民税及び事業税	△116	85
少数株主損益調整前四半期純利益	1,275	822
少数株主利益	11	50
四半期純利益	1,264	771

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,275	822
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72	△71
繰延ヘッジ損益	△4	5
土地再評価差額金	—	88
為替換算調整勘定	△231	△161
持分法適用会社に対する持分相当額	△47	△17
その他の包括利益合計	△355	△156
四半期包括利益	919	665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	921	621
少数株主に係る四半期包括利益	△1	44

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	15,508	3,408	560	19,477	—	19,477
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	92	9	101	△101	—
計	15,509	3,500	569	19,579	△101	19,477
セグメント利益又は セグメント損失(△)	858	245	△100	1,003	2	1,006

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,593	3,599	469	21,662	—	21,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	86	2	89	△89	—
計	17,593	3,686	471	21,751	△89	21,662
セグメント利益又は セグメント損失(△)	741	296	△197	839	△0	839

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。